

## 仕上げ兼用補修材

# L.コート(G)

流動性に優れ、下地への接着力が強く、硬化強度の高い床面を作り、内、外部に使用できる床用ポリマーセメントモルタルです。

### 特 長

- 不陸の多い下地にも塗り厚が1～5mmと対応できます。
- 早期の強度を発揮し、翌日には軽歩行が可能です。
- 雨に打たれたりした床面の補修に最適です。
- 流動性に優れ、仕上げコテやプラスチックコテ等で軽く均すだけで平らな床面に仕上がります。



### 施 工 面 積

塗り厚	施工面積
3mm	約5.0㎡
5mm	約3.0㎡

### 性 能

試験項目	測定結果	
	材齢 7日	材齢 28日
曲げ強さ N/mm <sup>2</sup>	7.7	11.0
圧縮強さ N/mm <sup>2</sup>	30.4	41.1
接着強さ N/mm <sup>2</sup>	2.6	3.2

耐摩耗試験	0.25g(摩耗量)	JIS K 7204に準ずる(500回転)
-------	------------	-----------------------

# 施工方法

## 下地処理

- ・下地の脆弱部は取り除き、汚れ・苔・土等は十分に清掃して下さい。
- ・下地の乾燥を確認し、日藻プライマーを塗布してください。気泡の出やすい下地にはデッキブラシ・ハケ等で擦り込むように所定量を目安に塗布してください。  
(塗布量不足は気泡の原因につながります。)
- ・日藻プライマーは完全乾燥させて下さい。

## 混練り

- ・混練水量は5ℓ/袋以下で使用して下さい。必ず水を計量して先に容器に入れ、Lコート(G)を投入しながら高速攪拌機で約3分間、均一に練り混ぜて下さい。
- ・水量は毎回一定となるように混練して下さい。

## 塗り付け

- ・塗り付けは隅のほうから順に適当な量の材料を配り置きして、手早く軟らかな仕上げ鍍やプラスチック鍍で表面を軽く均して下さい。流動性があるので、容易に平滑な仕上げ面が得られます。(コテ厚をきかせての塗り付けは表面が波打ち、平らに仕上がりにくくなります。)
- ・5mm以上の不陸箇所がある場合は、予め補修をした後に塗り付けを行って下さい。
- ・勾配は上から下へ向けて塗り付けて下さい。

## 養生

- ・極度の風、直射日光にさらされた場合、収縮ひび割れの発生等が起きる恐れがありますので、養生対策を行って下さい。
- ・硬化前に雨や何らかの水が掛かると白華や強度不足が生じますので十分注意して下さい。
- ・初期養生期間中(最低でも24時間以内)は、重みや振動の掛からないよう注意して下さい。
- ・仕上げ材(塗床、貼り床)の施工はLコート(G)の乾燥状況を十分に確認して行って下さい。

## 荷姿

20kg/袋



# 注意事項

## 【使用上の注意】


- 保管及び取り扱いにはセメントと同様に、湿気には十分注意して下さい。
- 気温5℃以下では凍結、30℃以上では急激な乾燥の恐れがありますので施工は避けて、降雨には十分注意して下さい。
- 他の材料の混入は製品のバランスを崩す恐れがあるので、絶対にしないで下さい。

## 【取り扱い上の注意】

- 吸い込んだ場合はうがい洗浄して下さい。
- 目や口に入った場合には直ぐ水で最低15分間洗い流した後、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合は、直ちに多量の水を飲み、吐き出した後、医師の診断を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合は、付着した部分を水で洗い流し、状況に応じ医師の診断を受けて下さい。
- 使用目的以外には使用しないで下さい。

◆本カタログの記載内容は予告なしに仕様や記載内容を変更する場合がありますのでご了承下さい。

◆本カタログ記載の内容(性能、データ等)は作成時点での弊社実験での測定値であり、実際の現場での数値、性能を保証するものではありません。

 日藻五材株式会社

〒174-0043 東京都板橋区坂下2-13-18  
TEL.03(5392)1007(代) FAX.03(5392)1023

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	2110002
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	<a href="http://www.nsk-web.org/">http://www.nsk-web.org/</a>